



佐野市における小中一貫



佐野フレンドキャラクター
さのまる ©佐野市

心豊かで、自ら学び、たくましく生きる児童生徒の育成を目指して

第2段階の重点課題！！

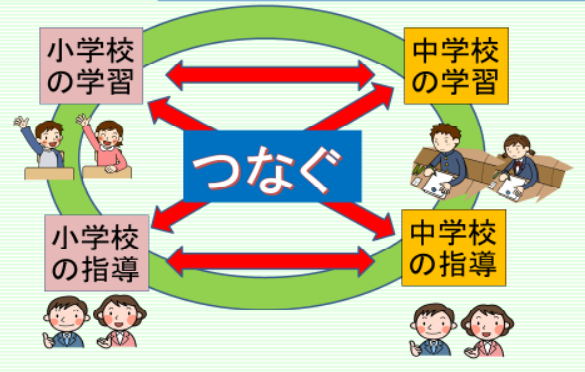
ステップ2 《つなぐ》
平成29～31年度

知(学習指導)のつながいを重視

徳(児童生徒指導)の一貫性を重視

体(体力づくり・保健安全教育)のつながいを重視

ステップ2 学びの連続性・系統性を意識



佐野市における小中一貫教育は、現在、第2段階（ステップ2）に入っております。

平成26年から28年度までの第1段階（ステップ1）では、「知る」をテーマに、小中学校の教職員同士、小学生と中学生、同じ中学校に進学する児童同士が互いに交流する機会を意図的に設定し、中学校区ごとに創意工夫を凝らした様々な取組が行われ、現在も継続して実施されています。

そうした取組の主な成果としては、

- ① 教職員同士の児童生徒理解がより深まった。
- ② 義務教育9年間を一体的に捉えた教育の必要性について認識が高まった。
- ③ 中学生の自尊感情や責任感、思いやりの気持ちが高まった。
- ④ 小学生の中学生に対する親近感やあこがれの気持ちが高まった。などが挙げられます。

一方、課題としては、交流の機会を設定するためには、人の移動に時間がかかったり、日程を調整するのが困難だったりすることのほか、学習内容の系統性や生活のきまりの一貫性についても研究していく必要があるといった意見が聞かれました。

そこで、昨年度から、第2段階（ステップ2）としては、「つなぐ」をテーマに、小中学校の学習の系統性や連続性を意識して授業改善を行うことや中学校区ごとに重点目標や共通課題を設定して学力・体力の向上に取り組むこと、小中学校で一貫して指導の徹底を図っていくことなどを重視して進めております。例えば、「表現力」を高めることを小中共通の重点目標としたり、算数・数学の「比例・反比例」に関する学習について小中の系統性を明確にして指導法の研究をしたり、小中学校で「あいさつ」や「靴揃え」「姿勢」などについてを継続的に指導したりというように、中学校区ごとに課題を焦点化していくことが大切だと考えております。

小中一貫教育推進ブロックのグランドデザインが完成

佐野市では右の表のように、中学校区を中心とした小中一貫教育推進ブロック等を組織して研究を進めております。

推進ブロックごとに、目指す児童生徒像や重点課題等を共有するためのグランドデザインを作成しました。これを基に、小中学校の教職員が互いに連携を強化し、義務教育9年間を見通した教育活動の更なる充実に努めていくことを考えております。

各推進ブロックの取組については、家庭や地域のご理解・ご協力が必要不可欠であると思っておりますので、よろしくお願いいたします。

小中一貫教育の推進校区、推進ブロックの枠組（平成30年4月現在）

型	推進校区	推進ブロック	学 校 名
施設分離型	佐野中央	佐野城東	城東中 佐野小（天明小）（城北小）
		佐野西	西中 天明小 旗川小 吾妻小（植野小）（城北小）
		佐野南	南中 植野小 界小
		佐野北	北中 犬伏小 犬伏東小 城北小
	田沼東	田沼東	田沼東中 田沼小 吉水小 橋本小 多田小
義務教育学校型	田沼西 平成32年度 開校予定	田沼西	田沼西中 戸奈良小 三好小・山形小・関馬小 下彦間小 飛駒小（田沼小）
	葛 生	葛 生	葛生中 葛生小 葛生南小
	平成34年度 開校予定	常 盤	常盤中 常盤小 氷室小
	赤 見	赤 見	赤見中 赤見小 石塚小 出流原小

() は進学先が複数の中学校になる小学校

佐野市立あそ野学園義務教育学校

【平成32年(2020年)4月開校】

佐野市初の義務教育学校(栃木県では3校目)

【教育理念】

ふるさとを愛し

自ら学び 心身を鍛え 未来を拓く

児童生徒の育成

【学校教育目標】

自主・創造

叡智

信愛

克己

叡智、信愛、克己を重んじ、自主・創造する 児童生徒

【学校の主な特色】(予定)

◇義務教育9年間を一体的に捉えた系統性のある教育課程の工夫

- ・1年生から9年生までの全校児童生徒による運動会
- ・5年生から9年生までの児童生徒による合唱コンクール
- ・5・6年生から中学校教員による一部教科担任制の導入

「義務教育学校」とは…

平成28年4月1日から、それまで特例でしか設置できなかった小中一貫校の設置が可能になりました。

小学校、中学校に加え、新たな学校種として、義務教育9年間を一貫して行う「義務教育学校」が法的に制度化されたこととなります。

平成29年度における義務教育学校の設置数は、全国で48校となっています。文部科学省の調査によると、今後、平成30年度に更に25校設置予定で、平成35年度には、約100校が設置される見込となっております。

小学校

中学校

義務教育学校



全国の小中一貫校の紹介

茨城県つくば市立春日学園

【平成23年度4月開校】

施設一体型小中一貫校

平成28年度から義務教育学校となる。

【小中一貫教育の主な取組】

- ◇つくばスタイル科 考える時間の創設
- ◇上級生との交流学习、多様な異学年活動
- ◇外部人材を生かした本物体験

長野県信濃町立信濃小中学校

【平成23年度4月開校】

施設一体型小中一貫校

【小中一貫教育の主な取組】

- ◇信濃町を学習材にしたふるさと学習
- ◇ふるさと登山
- ◇9年間継続した読書活動
- ◇しなの学校応援団

東京都武蔵村山市立村山学園

【平成22年度4月開校】

多摩地区初 施設一体型小中一貫校

【小中一貫教育の主な取組】

- ◇小中の教員がチームで実施する協力授業
- ◇児童・生徒が一緒に学ぶ交流授業
- ◇村学スタイル
(学習の質を高める授業展開の開発)
- ◇5・6年生の一部教科担任制の導入
- ◇企業体験「やってみかんパニー」

東京都武蔵村山市立大南学園

【平成28年度4月開校】

施設隣接型小中一貫校

【小中一貫教育の主な取組】

- ◇義務教育9年間の学びをつなぐ
「ブリッジプログラム」の開発
- ◇大南ベイシック 各教科を貫く学習行動目標
～わけをそえて～(小学生)～理由を述べて～(中学生)
- ◇児童・生徒が一緒に学ぶ交流授業
- ◇ワンコインプロジェクト(ラオスの学校建設支援)

